

和歌山県有田市

多世代で取り組む ICT 講習を通したまちづくり



【活動の基本情報】

参加学生数：4 名（1 年生：1 名、2 年生：2 名、4 年生：1 名）

活動期間：2017 年 6 月～

担当教員：永瀬節治

1. 活動実施の経緯

有田市箕島地区では、平成 29 年度より有田市社会福祉協議会や箕島地区の地域活動団体である「ワンハート」と連携しながら、多世代交流を通じた地域活性化に向けた活動に取り組んでいる。令和 2 年度からはコロナ禍の影響により現地での活動が制約される中で、オンラインによる交流機会の創出など、内容を工夫しながら実施できる活動を進めてきた。

2. 活動の内容

昨年度の主要な活動としてオンラインで実施した「まちづくりワークショップ」の参加者から出された、世代間交流の機会の創出や、地域の中での情報発信の取り組みなどの課題を踏まえ、今年度は社会福祉協議会と連携した「スマホ講座」に取り組んだ。これは高齢者にスマートフォンの機能や使い方などを教えながら、コミュニケーションを楽しんでもらう企画である。

当初は 8 月に予定されていたが、コロナ禍の影響により延期となり、10 月下旬に箕島駅前広場にて実施することができた。当日は箕島中学校の生徒たちにも協力してもらい、大学生たちにとっても貴重な世代間交流の機会となった。この時の反省点も踏まえつつ、2 月 8 日には第 2 回を開催した。

また、11 月 6 日に開催された「有田ふるさとうまいもんまつり」では、ワンハートと合同で出店し、飲食物（ダージーパイ）の販売を行った。販売物の試作などの準備から当日の運営まで携わり、コロナ禍において地域の大きなイベントに関わる貴重な機会となった。

3. 活動を通じて

今年度は対面での活動が復活し、昨年度のワークショップでの意見を踏まえた具体的な企画に取り組むことができた。現地での活動や地域の方々とのコミュニケーションを通じて得られた情報や達成感、反省点も踏まえながら、来年度も引き続き多世代交流を軸とした活動に取り組む予定である。

4. 成果ポスター

箕島LPP

2022年度活動報告

箕島ってどこ？

和歌山県北西部に位置する有田市の
中の地区の一つ。日本有数のみかん
産地で、みかん鶏や太刀魚、しらす
なども特産品。
豊かな自然と地域の人々の温かさで
溢れる素敵な地域です。

箕島LPPとは？

メンバー：1～4回生 計4名
有田市箕島地区を中心に**有田市社会福祉協議会**と商店街・商工会議所が中心のまち
づくり団体「**ワンハート**」の2つの受入先と協働して活動しています。

活動テーマ

「多世代」で取り組むICT講習を通したまちづくり

昨年度、オンラインまちづくりワークショップを行い住民の方々から出た、

「世代間交流ができる機会がもっとあればいいな…」

「情報発信や受信の仕方がよくわからない…」

そんな地域の課題解決に向けて、2022年度のテーマとして設定し活動してきました。

スマホ講座

10/29に箕島駅前広場にて、高齢者の方を対象としたスマホ講座を行いました。“多世代”交流の場とするため、ボランティアとして箕島中学校の生徒さんにも協力して頂きました。当日は事前に制作した資料を用い、参加者の方の反応を見ながら1対1でコミュニケーションをとり進めることが出来ました。終始温かい雰囲気講座が進み、無事成功に終わりました。また、今回の講座の反省を踏まえ、第2回を行う予定です。(荒天のため2月に延期)

うまいもんまつり

11/6に第20回有田ふるさとうまいもんまつりに、ワンハートと合同で出店しました。当日は予定していた数の「タージーパイ」を無事完売することが出来ました。試作など準備は大変でしたが、購入者の方から「美味しかった」と感想を頂き、達成感を感じたイベントとなりました。コロナ禍でありながら、地域と深く関わるお祭りに参加させていただけたことをうれしく思います。

今年度の振り返りと来年度に向けて

- ・人数が少ない分連携は早くとることが出来たが、個々の仕事量が多いため、見直しをもって会議や活動を進めておくべきだった。
- ・コロナ禍ということもあり、交流できる地域の方も限定的であった。
- ・地域の方と直接お話しすることが出来、大きな達成感を得ることが出来た。

- ・余裕を持った日程調整を行い、今後の予定の見直しを全員で共有できるようにする。
- ・今年度よりも幅広く多くの方に参加してもらえるイベント、多世代交流の場を作る。
- ・有田市社会福祉協議会や「ワンハート」の方々と更に深く連携を取り、活動を行っていく。

更に地域と深く関わり、箕島地区の方のニーズに応えられる活動を！

合同報告会 当日の様子

和歌山県有田市箕島

テーマ：多世代で取り組む ICT 講習を通したまちづくり

いくつかの LPP の報告を聞く中で、学生の発表する姿から、学生が一年間主体的に取り組んできたこと、満足いく活動ができたことを感じ取った。一部の報告しか見ることが出来なかったが、特に那智勝浦町 LPP の報告が印象に残っている。1 回生も自分たちの取り組みを堂々と報告しており、そのような LPP では、学年の枠を超えた連携をとって、普段の活動を行っているのではないかと感じた。美浜町 LPP は、前年度からの継続メンバーがほとんどということで、前年度の活動と比較や、今年度なおよかった点を挙げて発表していたため、成果がよくわかった。どの LPP も一年間の活動、成果・課題がしっかりとまとめられており、わかりやすい報告であった。その中でも充実した活動を行うことができた LPP の報告では、発表内容や今年度の振り返りの充実度が感じられた



箕島 LPP へのコメントシートでは、関係者の方から「ノウハウを文書化してほしい」「スマホ講座の継続が素晴らしい」とのコメントをいただいた。私たちの取り組みをしっかりと評価したコメントをいただくことができ、大変うれしく感じている。その他のコメントから、学生が互いに認め合う姿、他の LPP から吸収しようとする姿が良いと感じた。